

# 1. 会長挨拶、祝辞

- \* 会長挨拶 村田 吉昭 .....4
- \* 祝辞 沼津市長 大沼 明穂 .....5
- \* 祝辞 静岡県教育委員会 教育長 木苗 直秀 .....6
- \* 祝辞 NPO法人沼津市体育協会長 白井 勇二 .....7
- \* 祝辞 静岡県ソフトテニス連盟 会長 鷲頭 典利 .....8



# 発刊にあたって

沼津ソフトテニス協会 会長 村田 吉昭

沼津ソフトテニス協会は、昭和22年、森田寧を初代会長に発足しました。当初の参加チームは東京電力、東芝機械、国産電機、電報電話局、藤倉電線、沼津市役所、不二家食品、千本クラブ、香陵クラブ、八重クラブ、沼商クラブ、白桃クラブ等でした。

現在、当協会には、小学校低学年から90歳のベテランまでが所属しており、健康維持目的の愛好者から県国のトップを目指す選手も多く、正に生涯スポーツとしての面目を保っております。

現状の隆盛は70年の長きに渡った歴代の役員、諸先輩の情熱と御尽力のおかげであり、あらためて深く感謝いたします。

私は、テニスコートにはテニスの神様が住んで居られると信じています。テニスの神様は練習好きの人間がお好みで、本気に練習する人には褒美をくれるのです。

小学生には元気に声を出す方法と、道具を大事にすることを教えてくれます。

中学生には礼儀と感謝、集中して時間を無駄にしないことを教えてくれます。

高校生には作戦と、継続が勝利の為に重要なことを教えてくれます。

大学生社会人には、辛いこと、悩みごとをコートの中で忘れさせてくれます。

高齢者には、笑顔で話せる仲間と、健康をくれるのです。

健康を害し練習に参加できない時も有ります。痛いのを我慢して練習に参加するのもソフトテニスなら、練習を我慢して治療に専念するのもソフトテニスです。

ソフトテニスを愛し、ソフトテニスに感謝し、神様からご褒美をいただくのです。

ソフトテニスは、明治17年日本で生まれたスポーツです。現在では5大陸から50ヶ国近くが集まり、4年毎に世界選手権が実施されるグローバルなスポーツに発展しています。当協会に於きましても、一般と成年はもちろん、近年小学生と高齢者の活躍も目立ち、頼もしい限りであります。これからも県東部中核として役割を担い、ソフトテニスの普及と発展、会員の技術向上、笑顔あふれる親睦作りを目指し努力してまいります。

沼津ソフトテニス協会創立70周年を迎えるにあたり、沼津市、沼津市体育協会、記念誌発刊に御協力をいただいた全ての皆様に厚くお礼申し上げます。



## 祝辞

沼津市長 大沼 明穂

沼津ソフトテニス協会が創立70周年を迎えられ、記念誌が発刊されますことを心よりお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和22年の発足以来、70年の長きにわたり幾多の全国レベルの選手を輩出され、また、市内にとどまらず、静岡県東部地域におけるソフトテニスのレベル向上にも尽力されているとお聞きしております。今日までの貴協会の歴史を築き上げられた諸先輩方のご尽力に深い敬意を表するとともに、沼津市のスポーツ振興に大きく貢献してこられたことに、心より感謝を申し上げます。

沼津市は、市民一人ひとりの年齢や健康状態、技術、興味、目的に応じて、子供から高齢者まで、それぞれが生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を実現するために、「沼津市スポーツ推進基本計画」を策定し、健康づくりや体力づくりなどの生涯スポーツの推進を図っているところでございます。老若男女を問わず、幅広い年齢層が楽しめるソフトテニスは、まさに生涯スポーツの代表選手として普及・定着しており、ソフトテニスを楽しむ皆様によってスポーツ人口が拡大し、活気あるまちづくりにつながっていることを大変うれしく、また、ありがたく思います。市といたしましても、施策を通じてスポーツをする楽しさを引き出し、ソフトテニス協会をはじめとする各競技団体の皆さまのご協力をいただきながら、生涯スポーツの振興を図り、世界一元気な沼津市を目指してまいりたいと考えます。

そのような中、平成30年にはインターハイの相撲競技がここ沼津市で開催され、平成32年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。大きなスポーツイベントが開催されることで、スポーツに対する市民の関心がますます高まりつつある今こそ、スポーツを通じて沼津を元気にするチャンスであると考えます。そのためには、地域、競技団体、行政が一体となって更なる生涯スポーツの推進を図っていくことが大切であると考えます。

今後も引き続き、ソフトテニスの普及・振興にご尽力いただくとともに、沼津市のスポーツ振興事業に更なるご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、貴協会のますますのご発展とご活躍をお祈りして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



## 祝 辞

静岡県教育委員会 教育長 木苗 直秀

このたびは、沼津ソフトテニス協会が創立70周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。ソフトテニス愛好者として、心からお慶び申し上げます。

本協会は、昭和22年に発足以来、会員の増加とともに着実に発展され、70周年を迎えられましたことは、歴代の会長様をはじめ、役員の皆様、および会員の皆様の御努力の賜物であり、そのご労苦に対しまして深く敬意を表します。

私は、現在の沼津市立原中学校に入学した際、軟式テニスクラブ（当時）に同期生の男女10名とともに入部し、夕方遅くまで白球を追って練習したことを思い出します。

中学2年生の時には、現在の天皇・皇后両陛下が御成婚前に軽井沢でテニスを楽しまれていらっしゃったことが、新聞等で大きく報道されておりました。

また、静岡薬科大学時代は大学対抗テニス大会を、そして卒業後、同大学の教員となっからは県職員のテニス大会に毎年参加し、何度か入賞したことが、懐かしく思い出されます。

現在は、ソフトテニスと名称が変わり、ルールも変わっておりますが、小・中・高校生を含む大変多くの愛好家がいらっしゃると聞いております。

関係者の皆様におかれましては、今後とも地域に根差したソフトテニスの一層の振興・強化と青少年の健全育成に努められ、「富国有徳」の魅力ある地域づくりに取り組み、本県の将来を担うスポーツ人材の育成に、御尽力賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、関係する皆様の長年の御労苦に改めて謝意と敬意を表しますとともに本協会の益々の御発展と皆様の御活躍、御健勝を心より祈念いたしまして、祝辞といたします。



# 創立 70 周年を祝して

NPO 法人沼津市体育協会 会長 臼井勇二

沼津市ソフトテニス協会が創立 70 周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

創立 70 年の歴史とその伝統は大変重みがあります。創立の時期は、沼津市体育協会とほぼ同時期であります。戦後の復興を目指し英断をもって市民のため、また青少年健全育成のためにスポーツをと諸先輩の心意気が伝わってまいります。

今回の祝事等運営に関わる関係者各位のご支援にも感謝申し上げます。

昨年度に実施いたしました沼津市体育協会の創立 70 周年記念のスポーツ功労者としてソフトテニス協会から 6 人の方が表彰されました。

このことは、ソフトテニス競技の今後の振興に大きな力となることでしょう。

平成 26 年に策定された沼津市スポーツ推進基本計画の基本理念は、スポーツは、気晴らしや気分転換がそもそもの意味であり、それをする事自体が喜びや楽しさをもたらす活動であるということ念頭に置き、それぞれの年齢や健康状態、技術、興味、目的に応じて、子供から高齢者まで、市民にひとり一人が生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境の実現を目指します。と、あります。

これは、沼津市体育協会が日頃より提唱しております、「スポーツの香りのする街・沼津」に相通じるものがありますが、いつでも、どこでも、誰もが、スポーツを享受することのできる環境づくりを目指そうということでもあります。

また、スポーツ推進基本計画のスポーツ定義の一部に、スポーツを「する」以外に、スポーツを「観る」、スポーツ活動を「支える」といった活動もスポーツとして定義しています。

要はライフステージ等に応じた生涯スポーツの推進、スポーツ環境の諸整備、スポーツ活動を支える仕組みの充実などが、今後の社会体育の中核になると感じます。

結びといたしまして、歴史と伝統を兼ね備えたソフトテニス協会の益々の発展と、沼津市民総スポーツの振興と貴協会の皆様方のご多幸とご活躍を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



# 祝 辞

静岡県ソフトテニス連盟会長 鷺頭 典利

沼津ソフトテニス協会創立70周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。  
貴協会は、戦後間もない昭和22年、東京電力を初めとする実業団チーム、高等学校OBチームの同志が相集まり軟式庭球協会として発足し今日に至っていると伺っております

当時市営コートも無く、物資乏しきなかで関係者の献身的な取り組みで組織の確立や選手の育成等困難な問題を見事に克服され、県東部地区のリーダーとして、指導的な役割を果たし、各種大会の開催、ソフトテニスの普及・発展に尽力された当時の役員、会員の皆様に深く敬意を表する次第であります。

近年は、公営のテニスコートも充実し、愛好者を集い発足した千本クラブ、沼津グリーンクラブ、そして千本ジュニア、原ジュニアの活躍は目覚ましいものがあり、県内大会はもとより、全国大会で数々の優秀な成績を収め貴協会の高いレベルを示すとともに、明電舎を初めとする実業団チームの活躍も国体等全国大会の常連となっており、これまでの関係者のご尽力に感謝申し上げます。

県連盟といたしましては、指導者の育成、競技力の向上等課題は山積していますが、その解決のため、会員の皆様の協力をいただきながら、県連役員はもちろん貴協会役員の協力をいただきながら各種事業を展開しソフトテニスの普及、発展のために努力してまいりたいと考えています。

平成30年度開催予定の全日本社会人選手権大会、同じく30年度から3年間西日本小学生選手権大会などの全国大会の開催が本県で開催されることが決定しています。その開催の成功のために一層のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

終わりに、この70周年を契機に次なる100年の歴史づくりに力強い実績を重ねられますとともに貴協会の益々のご発展をご祈念申し上げ記念誌発刊に寄せるお祝いのことばとさせていただきます。